

令和2年度 名古屋調理師専門学校 学校関係者評価報告書

作成日：令和3年5月31日

学校関係者評価委員会 開催概要

1. 日 時 令和3年5月28日（金）15：30～16：30
2. 場 所 名古屋調理師専門学校 会議室
3. 出席者 理事長 三浦由美子
校 長 向山 登
事務局長 三浦 大介
委 員 和佐田美久（ 関連業界等関係者 ）
委 員 佐藤美智子（ 教育に関し知見を有する者 ）
委 員 柴田 麻美（ 教育に関し知見を有する者 ）
委 員 澤田 紀子（ 教育に関し知見を有する者 ）

4. 議 案

- ・ 自己評価結果について

学校自己点検・自己評価報告基準	総合評価
基準1教育理念・目的・育生人材像等	5
基準2学校運営	5
基準3教育活動	5
基準4教育成果	5
基準5生徒支援	5
基準6教育環境	5
基準7生徒募集と受入れ	5
基準8財務	5
基準9法令等遵守	5
基準10社会貢献	5
基準11国際交流	—

- ・ 学校関係者評価の実施

5. 評価・意見

- ・ 自己評価は適正に行われているとの評価を受けた。
- ・ 教育理念に沿った指導が成されており、また、法令等の遵守ができているとの評価を受けた。
- ・ 時代の変化とともに、学生のメンタルに配慮した指導をすべきとのことご提案があった。
- ・ 引き続き退学率の低下に努めるべきとのこと指摘があった。
- ・ 施設の老朽化に注意すべきとのこと指摘があった。
- ・ 学生だけでなく教員の労働環境にも配慮すべきとのこと意見があった。
- ・ 財政については、新型コロナウイルスの影響で業界全体の先行きが不透明なため、学生の確保により注力するとともに支出の削減に努め、健全な経営を維持すべきとのこと意見があった。
- ・ 前年度、学校関係者から一人も新型コロナウイルスの感染者が出なかったことは大いに評価でき、引き続き感染拡大防止に努めていくべきとのこと指摘があった。

また、制限された環境の中でも学生には最大限の学習機会を提供し、所期の目標を達成できるよう配慮をすべきとのこと指摘があった。